

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和3年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)
指定管理者名	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立男女共同参画推進センター条例
施設の設置目的	女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現を図ること (相模原市立男女共同参画推進センター条例第2条)
施設概要	(1)所在地 相模原市緑区橋本6-2-1(シティ・プラザはしもと内) (2)施設規模 シティ・プラザはしもと 5,090㎡のうち、男女共同参画推進センター 1,509㎡ (3)主な施設 セミナールーム1～6、情報コーナー、であいの広場等
施設所管課	市民局 人権・男女共同参画課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	83,884	81,265	69,903	20,132	54,522		
使用料合計(円)	9,033,817	8,759,535	7,630,108	3,393,137	6,256,345		
貸館率(%)	77.0	75.9	74.3	51.2	63.5		
講座等参加者数(人)	13,171	12,646	10,608	669	3,628		

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	貸館率は目標値に達しなかったものの、講座等参加者の男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合は目標値を上回っており、施設の設置目的である「女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現」に向けた取組を着実に進めた結果であることから、「A」と評価した。

### 指標1

指標名(単位)	施設の貸館率(%)
指標式と指標の説明	(1)指標式:施設の利用回数/施設の利用可能回数×100 (2)指標の説明:当該施設の活用が十分図られているかを見る指標

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	77.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0
実績値(%)	77.0	75.9	74.3	51.2	63.5		
達成度(%)	100.0%	97.3%	95.3%	65.6%	81.4%	0.0%	0.0%

指標 2	
指標名 (単位)	男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合 (%)
指標式と指標の説明	<p>(1) 指標式: 講座等の参加者アンケートにおいて、以下のすべての質問に肯定的な回答をした人数 / アンケートの総回答人数 × 100</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座等に参加して、男女共同参画に関する理解が深まったか (⇒「大変深まった」もしくは「深まった」と回答した人数)</li> <li>・講座等で得たことを、家庭・職場・地域等で活かそうと思ったか (⇒「はい」と回答した人数)</li> </ul> <p>(2) 指標の説明: 講座等参加者における男女共同参画意識の高揚及び家庭・職場・地域等への男女共同参画の推進を見る指標。</p>

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	—	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
実績値 (%)	—	—	74.5	80.8	83.7		
達成度 (%)	—	—	106.4%	115.4%	119.6%	0.0%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<p>通年で実施している講座、講演会等や市が定める男女共同参画推進週間に関連した事業について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも適切な本数を実施するとともに、自主事業において女性作家の活躍の場を広げる新たな取組を開始したこと、インターンシップ実習生を積極的に受け入れ、若年層の意見を取り入れながら事業の企画を行ったことは評価できる。また、男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が目標値を上回っており、施設の設置目的を十分に達成していることについても評価できる。</p> <p>一方で、令和2年度に引き続き、登録団体連絡会が開催できていないため、オンライン開催等コロナ禍においても開催できる方法を検討する必要がある。また、市民企画セミナーの応募が無かったことや、市民団体等のミニギャラリーの活用回数が少ない状況もあったため、コロナ禍が長引く中にあっても、市民団体等が活発に活動できるような支援体制や環境の整備、そのような体制等がある旨の積極的な周知が必要であるため、「B」と評価した。</p>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
男女共同参画の普及啓発のための講座、講演会等の企画運営	通年	<p>「第3次さがみはら男女共同参画プラン」に基づき、性別にかかわらず、すべての個人が互いに人権を尊重し、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、講座等の企画・運営を行った。また、大学2校から9名のインターンシップ実習生を合計23日間受け入れ、若者のニーズが高い事業や企画展示の次年度の実施に向け、若者視点のアイデアを取り入れた企画をともに行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■実施事業数: 39本(ほか、新型コロナウイルス感染症等の影響により、2本全部中止、4本一部中止)</li> <li>■講座等回数: 109回(うち、3回はオンライン講座)</li> <li>■総参加者数: 3,628名</li> <li>■参加率: 67.6%</li> <li>■男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合: 83.7%</li> </ul>	◎

市が定める男女共同参画推進週間に関連した、男女共同参画意識の普及高揚を図ることを目的とした事業	6月19日(土)～ 6月27日(日)	多くの市民が男女共同参画について考える機会となるように、またソレイユさがみを広く周知するため、市が定めるさがみはら男女共同参画推進週間(6月19日～29日)に合わせてソレイユフェスタを開催し、パネルディスカッションやセミナー、パネル展示などを実施した。 ■実施事業数:9本 ■講座等回数:10回 ■総参加者数:455名 ■参加率:64.9% ■男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合:83.1%	○
であいの広場におけるパネル展示	通年	暮らしや社会に潜むジェンダーに関する問題を取り上げたパネル展示を通して、広く男女共同参画社会の実現への啓発を行った。また、気づきのコーナーでは、「家庭でも子どもと性の話始めませんか」をテーマとした啓発展示や、DVD上映を行い市民の男女共同参画に関する「気づき」を促した。 ■パネル展示:2回(6月、2月) ■気づきのコーナー啓発展示:2回(7月～、2月～) ■DVD上映:月3本 8月及び9月は新型コロナウイルス感染防止のため中止	○
その他男女共同参画に係る各種情報の収集と提供	通年	ソレイユさがみの活動内容や男女共同参画に関する啓発情報を発信するとともに、ブックレビューを発行し、新着図書やおすすめ図書の紹介を行った。 ■ホームページの充実 ■ソレイユニュースレターの発行(1,100部×4回) ■ソレイユブックレビューの発行(850部×6回) ■ソレイユブックレビュー桜美林大学学生号の発行(800部×1回) ■ソレイユさがみ情報コーナー企画展示(5回)	○
市民企画セミナーの開催	通年	男女共同参画社会の実現を目指したセミナー、講演会等の企画・実施を希望する団体やグループに講師謝金等を助成するとともに会場の提供や運営支援を行った。 ■市民企画セミナー説明会:2回開催(3月) ■市民企画セミナーの応募:無し(新型コロナウイルス感染症の影響があると推測)	△

### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
ソレイユゆめひろば プチマルシェ	展示:通年 販売:毎月1回 (6月は2回) ※8月、9月はコロナのため中止	女性起業家支援事業として、であいの広場に設置した展示棚を貸し出し、オリジナルハンドメイド作品の展示の場を提供するとともに、月1回開催のプチマルシェにおいて、販売やワークショップの場を提供した。 ■出店者:延べ112名(すべて女性) ■参加者:1,108名(女性1,033名、男性75名) ■その他:プチマルシェからのスキルアップ事業として2月から「プチマルシェワークショップ」を開始した。(2回開催)出店者が講師となり市民に作品作り体験をしていただくもので、開催までに職員が個別にノウハウを支援する。さらに、講師を経験した出店者を市内公民館に講師として活用していただくよう、チラシにより紹介し女性作家の活躍の場を拡大した。	◎

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	講座等参加者の満足度について、目標値を上回っているため、「A」と評価した。 また、誰でも意見投稿ができる「お客様の声」、セミナールーム等特定の施設を利用された方に必ず記入を求める「利用記録用紙」を用いて、利用者ニーズ等の積極的な把握に努めていることは、高く評価できる。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	講座等の参加者に対してアンケート調査を実施 / 時期:通年 / サンプル数:445件(講師に関する設問のみ430件)
目標値の基準	講座等に対する全体評価、スタッフ対応、講師、環境について尋ねる各設問において、「大変満足」及び「満足」の割合の平均:90%以上

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	—	—	90	90	90	90	90
実績値（%）	95.4	93.6	93.8	94.3	94.7		
達成度（%）	104.9%	103.0%	104.2%	104.8%	105.2%	0.0%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
お客様の声	通年	正面入り口前に回収箱を設置し、センター利用に係る意見・感想等を募集するとともに、意見等に対する対応、回答を掲出し、利用者に周知した。
利用記録用紙	通年	セミナールームやであいの広場利用者に対し、利用内容、利用人数等のほか、施設への意見や要望等を尋ね運営管理に役立てた。

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	施設の収支については、本体事業収支、全体収支ともに黒字である。 団体の経営状況については、流動比率、自己資本比率は良好であるが、総資本回転率は財務規模に比して過大な受注をしていることを示しており、財務規模が小さいというところから経営状況に若干の懸念があるため、全体的には「A」と評価とする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
収入（a）		26,593	27,873	32,026	
	指定管理料	17,707	17,870	17,870	
	使用料収入	7,630	3,393	6,256	
	その他の収入	1,256	6,610	7,900	
支出（b）		26,253	25,627	28,404	
	人件費	22,047	20,974	21,333	
	本社管理経費	0	0	0	
	その他の支出	4,206	4,653	7,071	
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		340	2,246	3,622	
自主事業収入（d）		259	0	100	
自主事業支出（e）		126	0	30	
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		133	0	70	
全体収支 【(c)+(f)】		473	2,246	3,692	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックシートに基づき、指定管理者へのヒアリング及び現地確認により検査を実施した。
実施時期	令和3年9月30日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

成果指標である施設の貸館率は、目標を達成できなかったものの、男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合については83.7%と引き続き目標を達成しています。また、利用者満足度については、全ての項目において高い結果を得ることができました。新型コロナウイルスが心配される中、市補助金を活用し万全な対策を講じ、オンラインセミナーの実施など、利用者に安心していただける環境を作れたと考えています。また、登録団体との共催事業で、オンラインによるLGBTs講演会や性的少数者やその家族が参加できるクロードミーティングの開催、プチマルシェの参加者が講師となって開催するワークショップ事業を新規に取り組むなど、「参加から参画」への道筋ができてきました。

初めて大学生のインターンシップを受け入れ、様々な若者視点での意見を得ることができ、講座や企画展に積極的に取り入れ若年層のニーズを捉えた事業展開を試みています。

## 10 所管課意見

年間を通して様々な講座等を開催した結果、男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が目標の70%を上回り、さらに前年度よりも2.9ポイント上昇した83.7%となったことは、施設の設置目的である「女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現」に大きく寄与する取組結果であり、評価できる。また、インターンシップ実習生を積極的に受け入れ、若年層の意見を取り入れながら事業の企画を行ったことや、自主事業において新たな取組を開始したことについても高く評価できる。

上記の理由に加え、施設の経営状況についても概ね良好であることや、高い利用者満足度を維持していることから、施設運営は適切に行われているものと評価するが、登録団体連絡会については、オンライン開催等、コロナ禍においても開催できる方法を検討いただきたい。

引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施していく必要がある中でも、市内の男女共同参画の活動拠点として、より効果的な事業実施や質の高い施設運営ができるよう、オンライン環境の充実をはじめ、社会状況に即した積極的な取組を期待する。

## 11 選考委員会意見

今回初めての取組となるインターンシップの受け入れは、大きな取組であったと評価する。例えば、学生に館内のPR動画を撮影していただくといった、限られた人数で運営している施設にとっては学生のサポートを得られ、学生にとっては経験を積むことができるという、双方にとってメリットがある関係を築くことができると良いのではないかと思う。また、男女共同参画の推進に当たっては、男性の視点を取り入れていくことも重要でありつつ、併せて女性に対する支援や性的マイノリティの方などへの支援も考えていく必要がある。他施設との差別化を図りながら、事業を実施していただきたい。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で施設休止が続いた一方で、施設収支は黒字となっているため、利用者への利益の還元について検討いただきたい。

アンケート収集方法や、お客様の声の収集方法について工夫をしながら、引き続き男女共同参画の推進拠点としての独自性を高め、男女共同参画社会の実現に向けて各種事業を展開していくことを期待する。

### 総合評価（自動判定）

